

平和の碑から言葉を奪った、「記憶の抹殺者」安倍政権

梶村道子(ベルリン・女の会)

ドイツのフライブルク市への平和の碑の設置が、日本政府の介入により頓挫したことは、前々回報告しました。

碑の制作資金を集めていた水原市の市民団体「平和の碑設置推進委員会」は、その後ドイツの韓国系団体を通して碑の引き受け手を探し、今年の3月8日、ドイツ南部のヴィーゼント村にある公園に碑が設置されました。しかしそれから2ヵ月足らずの4月末、日本大使館の圧力により、像の台座から碑板が撤去される事態が起きました。

在ミュンヘン日本総領事は設置後わずか5日目に事業主を訪問し、碑の撤去を迫りました。碑の設置は日韓「合意」の精神に背き、日本政府の立場に合致しないというのです。碑が置かれたのは、ネパール・ヒマラヤ・パーク財団推進協会という民間団体が運営するテーマパークです。立地は公共の場所ではなく、一年のうち夏場だけ有料公開される私有地で、設置者は民間の事業者です。その事業者の元に日本の外交官が出向いて政府の立場に従うよう迫るとは、外交常識を超えた振る舞いといわねばなりません。



碑文が削除された後(撮影:木村真紀)

日韓両外相は国際社会で「慰安婦」問題をテーマにしないと「互いに」合意しているそうです。ならばこれは日本政府にこそ向けられても、第三者に強要する謂れはまったくありません。しかし日本側は日韓「合意」を盾に、碑の建立は再スタートを切った日韓関係にそぐわないと事業主に迫り、その結果、事業主は、像を残すことを条件に碑文の削除を日本側に申し出ました。日本側の圧力に屈した事業主が譲歩したのです。

一方の在ドイツ韓国で作る碑設置準備委員会は、碑文削除をのむか碑を撤去するかの二者択一を事業主に迫られ、前者を選ばざるをえませんでした。設置を進めてきた団体が碑を引き取れば、まさに日本政府の思うツボだったでしょう。水原市の「平和の碑設置推進委員会」も像の制作者もこれを受け入れたということです。しかし碑文抜きの「少女像」は、何も語りません。日本大使館は「碑文には受け入



れ難い表現があった」と主張しますが、そこにはいたって控えめに史実が記されていたにすぎません。「強制連行」も「性奴隷制」もない、そんなささやかな碑文を安倍政権は削除させ、平和の碑から史実を語る言葉を奪ったのです。

フライブルク市に続き、ヴィーゼント村でもこのような結果になった原因は、二つ考えられます。一つは、日韓「合意」後の、安倍政権による海外での「慰安婦」問題に関する情報統制の強化です。在ミュンヘン総領事の「アジア的控えめさ」の片鱗もない攻勢は、フライブルク市長や現地メディアを驚愕させました。ヴィーゼント村の事業主がそれに屈したとしても不思議はありません。

もう一つは、碑の設置構想がドイツ社会ではなく水原市発であったため、引き受け側で、日本政府の要求を退けるに足る意見形成がなかったことです。フライブルク市は市議会の同意なく、市長の一存で受け入れを決めました。ヴィーゼント村の事業主と彼を支えた碑の設置準備委員会との間には十分な意思疎通がないまま碑が設置されました。議論の積み重ねがなく、「慰安婦」問題に関して確固とした合意のないところでは、日本政府の強引な「外交」攻勢を受けとめることはできないのです。送り手側にそうした事情への配慮が足りなかった点も問題でした。

日韓「合意」の撤廃運動のシンボルになった碑の設置は、ドイツでは残念な結果になりました。しかしあちこちで創造的な抗議スタイルが生まれています。碑になぞらえたパフォーマンス「生きている碑」もそうですが、去る7月にはG20に合わせて開催地ハンブルクの女性たちが、碑のミニチュアを駆使したネット上のキャンペーンを展開しました。碑本体がなくとも、そのシンボル機能を発揮したアクションは可能なのです。韓国で文在寅政権が発足し、「合意」見直しへの期待感も高まるなか、平和の碑が多様な形で活かされていくことを願いたいものです。

ハンブルクの各所に出没した平和の碑。
<http://justiceforcomfortwomen.eu/>

10 July 2017 - What is necessary to give survivors of the „comfort women system“ a closure



台座の黒い碑板には、「この平和の碑は、第2次世界大戦中に日本に強制売春をさせられた「慰安婦」の苦難を想起しています。約20万の女性が、アジア諸国から慰安所に連行され、性暴力を受けました。碑はこの非人間的戦争犯罪の被害者の苦難に思いを寄せ、女性たちの尊厳と権利の回復の一助となるものです。同時に、平和を呼びかけ、今日もなお戦地で性暴力の犠牲者となるすべての人々を想起するしるしです」と書かれていた。(撮影:ヤン・ヴェルナー・ブレル)